

第22回JAPANドラッグストアショー 開催速報

発行：一社）日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

8月19日（金）～8月21日（日）東京ビッグサイトにて、一社）日本チェーンドラッグストア協会主催による第22回JAPANドラッグストアショーが開催されました。3年ぶりのリアル開催でした。

テーマは「ドラッグストアが目指す、持続可能な地域と街づくり～一人ひとりのセルフメディケーションから～」。

開催中の来場者数は

| | | |
|--------------------|-------|---------|
| 8月19日・金（商談日） | 晴れ | 25,927名 |
| 8月20日・土（商談日/一般公開日） | 曇りのち雨 | 11,712名 |
| 8月21日・日（商談日/一般公開日） | 曇り | 8,685名 |
| 合計 | | 46,324名 |

期間中の総数は、46,324人の来場となりました。

なお、オンライン開催は今も継続中で、8月12日から28日迄の期間です。

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会
第22回JAPANドラッグストアショー実行委員長
大賀 崇浩

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-10 名和ビル5階
TEL. 03-3506-1031 FAX. 03-3506-1033

■第22回JAPANDラッグストアショー 実施概要

8月19日(金)～21日(日)の3日間、東京ビッグサイト東3・4・5・6ホールにおいて、リアル開催し、46,000人以上の来場がありました。オンライン開催は8月12日から28日迄で現在、開催中です。

本リアル開催の3日間には、趣向を凝らした出展ブースやセミナー、テーマブースに多くの来場者が集まりました。出展社からは「やっぱり、リアル開催がいい。来場者は大変熱心に説明を聞いてくれた」との声も聞かれました。

今回の出展社400社参加のブースコンテストは、次のような表彰となりました。また、「食と健康」に関しては、東5ホールの「食と健康ゾーン」内に、「食と健康アワード2022」と題して、受賞商品を展示し、19日にはイベントステージ上で表彰式も行いました。

ライフスタイルソリューション2022は、「メンズビューティエリア」「SDGsエリア」「キッズエリア」の3エリアで構成し、体験を交えた形で、大人から子供まで楽しく役立つ情報を発信しました。

また、テーマブース2022では、「進化成長するドラッグストア!」と題して、「SDGs推進活動」「社会インフラ構築・健康食品関連制度の動向と課題」「食と健康の実証実験報告」「受診勧奨ガイドライン」等を紹介しました。そのほか、各委員会活動もお知らせしました。

今回はイベントステージとは別に、セミナールームをA、Bの2会場用意して、ビジネスセミナーとライフスタイルセミナーを計15本行いました。

依然としてコロナ禍での、3年ぶりのリアル開催、東京ビッグサイトでの開催、真夏の開催等など、まったく新たなドラッグストアショーの開催となりました。この結果を踏まえて、来年の開催に活かしていきたいと思えます。

【ブースデザイン表彰】

| | |
|----------|----------------|
| 大賞 | (株)資生堂ジャパン |
| 準大賞 | ちふれホールディングス(株) |
| 準大賞 | 興和(株) |
| 優秀賞 | (株)おやつカンパニー |
| 優秀賞 | アース製薬(株) |
| 優秀賞 | (株)ダリヤ |
| 優秀賞 | (株)ネイチャーラボ |
| 優秀賞 | (株)太田胃散 |
| 実行委員長特別賞 | ロート製薬(株) |
| 実行委員長特別賞 | エーザイ(株) |

【第17回セルフメディケーションアワード】

第17回目を迎えたセルフメディケーションアワードですが、店舗で働く専門家、薬学生の方々から広く作品を募集し、241作品の応募がありました。

8月19日(金)に厳正な審査の結果選ばれた、グランプリ候補者の作品発表と最終審査、表彰式が行われました。今回の発表者もいずれも内容が濃く、薬剤師、管理栄養士、登録販売者それぞれの専門性を活かした内容の報告であり、甲乙つけがたいものでした。

今後もセルフメディケーション推進・啓発、ならびにドラッグストアに勤務する資格者の役割・職能共有のため、アワードの開催等の活動を行って参ります。

セルフメディケーションアワード実行委員長 櫻井 清

<開催概要>

日時:8月19日(金) 14:00～15:30

場所:東4ホール セミナールームB

参加者数:約100名

《受賞作品》

グランプリ

氏 名 : 蓮実 豊(はすみ ゆたか) 101114 薬剤師

所 属 : 株式会社スギ薬局

作品テーマ: 症状チェックシートを活用した適切な OTC 医薬品販売における受診勧奨の実践

準グランプリ 2名

氏 名 : 吉田 豊(よしだ ゆたか) 101112 薬剤師

所 属 : 株式会社アインファーマシーズ

作品テーマ: 現場事例を活用した登録販売者の効果的・効率的な教育研修システムの構築

氏 名 : 本庄 美結(ほんじょう みゆう) 102250 登録販売者

所 属 : 株式会社サッポロドラッグストア

作品テーマ: セルフメディケーション推進においてドラッグストアに勤める私が意識していること

会長賞

氏 名 : 小住 航(おずみ わたる) 103102 管理栄養士・登録販売者

所 属 : 株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

作品テーマ: ドラッグストアの専門性とお客様への情報提供

実行委員長賞

氏 名 : 村井 絢香(むらい あやか) 103205 管理栄養士・登録販売者

所 属 : 株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

作品テーマ: 服用薬剤を考慮した栄養相談の取り組み

審査委員長賞

氏 名 : 澤口 暁(さわぐち あきら) 102232 登録販売者

所 属 : 株式会社クスリのマルエ

作品テーマ: 登録販売者としてセルフメディケーション推進にできること

審査委員特別賞

氏 名 : 白坂 美紀(しろさか みき) 102112 登録販売者

所 属 : 株式会社クスリのアオキ

作品テーマ: ドラッグストアにおけるセルフメディケーションの推進

学生部門特別賞

氏 名 : 岡本 楓華(おかもと ふうか) 112077

所 属 : 東京医療秘書福祉専門学校 ※作品応募当時

作品テーマ: 疾病そのものの発生予防を学べる新しいドラッグストア

【第 10 回健康(セルメ)川柳コンクール 受賞作品発表】

国民の皆様幅広く遊び心で参加していただくことで、JACDSが取り組んでいるセルフメディケーション推進を広く一般の方に知っていただきたく、第 10 回目の開催となりました。

国民にセルフメディケーションという言葉を知っていただく目的が着実に成果をあげていると感じています。

健康(セルメ)川柳コンクール実行委員長 櫻井 清

《コンクール全体概要》

- ・作品募集期間: 2022 年 3 月 1 日～2022 年 6 月 30 日(4ヶ月間)
- ・応募方法 : パソコン・スマホによる応募フォームの利用、ハガキ、FAX等々
- ・応募作品総数: 約13,000作品
- ・優秀100作品をイベントステージ横に掲示
- ・受賞作品はイベントステージにおいて発表、その後イベントステージ横に掲示

《受賞作品》

大賞: 1 作品

アプリから 今日のセルメを 褒められる さごじょう

準大賞: 1 作品

笑顔から 上がる免疫 福来る 莓ちゃん

日本チェーンドラッグストア協会会長賞: 2 作品

冷蔵庫 糖質オフで あふれてる 松浦 陽

収束を 願うコロナと ウクライナ ハルル

JAPANドラッグストアショー実行委員長賞: 2 作品

医者よりも カンフル剤の 孫の檄 ごん太

筋トレが 捗る朝の 翔 TIME こうちゃん

健康(セルメ)川柳コンクール実行委員長賞: 2 作品

健康を 語る平和 かみしめる 朝山 ひでこ

やり繰りも 脳を鍛える 処方箋 アルサブア

ウエルシアホールディングス賞: 1 作品

ワクチンに マスクとセルメ 三銃士 みい

ウエルシア薬局賞: 1 作品

SDGs 早い話が まずセルメ 壮年隊

キリン堂賞: 1 作品

アラフォーの 意地はセルメで 若さ維持 たか

クスリのアオキ賞: 1 作品

いいセルメ 十人十色 それでいい とし

マツキヨココカラ&カンパニー賞: 1 作品

インスタに 映える白髪の セルメパパ ピアノカフェ

あらた賞: 1 作品

ワクチンを 4 回済ませ 歳バレル はな

第一三共ヘルスケア賞: 1 作品

大丈夫 母の言葉が 常備薬 モモッカス

大正製薬賞: 1 作品

朝散歩 増える仲間と 骨密度 宮ちゃん

【学術・調査研究委員会主催セミナー】

「セルフメディケーション推進と今後のドラッグストア・医薬品登録販売者の役割」

～ドラッグストアの役割と受診勧奨の課題と今後～

本セミナーでは厚生労働省医政局の安藤課長から国のセルフメディケーション推進に関する方針・施策に関する基調講演、当委員会の岸田学術顧問より、総合診療医の視点からの特別講演をいただいたあと、JACDS 学術・調査研究委員を交え、パネルディスカッションを行い、コロナ禍で明らかになったドラッグストアの役割、受診勧奨の意義やガイドラインをもとにした受診勧奨の実施報告と今後の課題等について検討を行いました。セミナー終了後も参加された方々との熱心な意見交換が行われ、関心の高さが感じられました。

委員会では、引き続きガイドラインの普及啓発、ならびに拡充に努めて参ります。

学術・調査研究委員長 櫻井 清

＜開催概要＞

日時: 8 月 19 日(金) 10:45～12:15

場所: 東3ホール セミナールーム A

参加者数: 約 50 名

【SDGs 推進委員会主催セミナー】

「サーキュラーエコノミー(循環経済)って何だろう？」

～持続可能な社会をみんなで作るための第一歩～

本セミナーでは SDGs 推進のキーワードであるサーキュラーエコノミー(循環経済)について、政府の方針や施策、先進メーカーの事例紹介、JACDS が取り組む、“地球とともに健康に”サーキュラーエコノミープロジェクト、等について紹介しました。参加者は発表に熱心に発表に聞き入っており、関心の高さが感じられました。

委員会では、引き続き業界全体での SDGs 推進に向けた活動を行って参ります。

SDGs 推進委員長 徳廣英之

<開催概要>

日時:8 月 20 日(土) 13:00～14:00

場所:東4ホール セミナールーム B

参加者数:約 80 名

【SDGs 推進イベント】

「サーキュラーエコノミーの実現に向けて」

本イベントでは SDGs 推進のキーワードであるサーキュラーエコノミー(循環経済)について、環境省の水谷室長から政府の方針や施策、CLOMA(Japan Clean Ocean Material Alliance)事務局の柳田技術統括より CLOMA の取組についてご講演をいただきました。その後、SDGs 推進委員会の取り組みと JACDS が取り組む、“地球とともに健康に”サーキュラーエコノミープロジェクト、等について紹介して、徳廣委員長と 3 名でパネルディスカッションで意見交換を行いました。

委員会では、引き続き業界全体での SDGs 推進に向けた活動を行って参ります。

SDGs 推進委員長 徳廣英之

<開催概要>

日時:8 月 20 日(土) 15:00～16:00

場所:東6ホール イベントステージ

参加者数:約 50 名

【第 1 回研修認定薬剤師研修】

8 月 19 日(金)～21 日(日)の 3 日間、東京ビッグサイト会議棟 101 会議室において、JACDS 勤務薬剤師会主催の「研修認定薬剤師研修」を開催しました。

合計で 9 セッション、薬局・薬剤師 DX の推進、薬事行政の今後の展開(特別講演会)、セルフメディケーションの最新情報、病気を媒介する害虫対策、景品表示法の広告表示、睡眠障害、薬局薬剤師への期待、今後の薬剤師に求められる役割(特別講演会)、治療における食事の重要性など多彩でタイムリーなプログラムの下、熱のこもった講義でありました。

参加者はもとより、講師からも「とても充実した研修ラインナップである」との評価をいただきました。

ドラッグストアにおける薬剤師の役割は今後ますます重要になっていきます。勤務薬剤師委員会では、これからも薬剤師向けの研修に力を入れていきたいと考えています。

勤務薬剤師委員長 関口周吉

<開催概要>

日時:8 月 19 日(金)～21 日(日) 10:30～16:30 1 日 3 セッションずつ講演(1 回あたり 90 分)

場所:会議棟 101 会議室

受講人数:合計 210 人

【薬物乱用防止教室】

8 月 20 日(土)東4ホール内セミナールームにおいて、医薬品登録販売者委員会主催「薬物乱用防止教室」を開催しました。

「薬物乱用防止教室」は、昨年のオンライン開催では動画を作成し配信しましたが、今回はリアル開催なので2名の登録販売者の講師が掛け合いで、より分かりやすく楽しい内容にしました。

中学校の授業で行う内容なので、アルコールやたばこの危険性から始まり、薬物乱用とは何かについて、薬物に誘われたときの対処法を分かり易く説明しました。

医薬品登録販売者委員長 関 伸治

<開催概要>

日時:8月20日(土)14:20~15:05

場所:東4ホール内 セミナールーム B

参加者数:約30名

【こどもやくざいし体験薬局】

ドラッグストアの調剤を身近に知ってもらうための企画で、今回で5回目の開催です。今回はコロナ対策として、こまめに消毒を行い、密にならないよう入場者の人数に注意しながら開催しました。

調剤室の中でどのような手順で作業が行われているのか、自動分包機に入れた薬がどのように分包されるのかを体験していただきました。体験後はお薬(お菓子)と修了証を持って記念撮影。子供用の白衣はそのまま差し上げたので、会場内で白衣の子供たちを目にされた方も多と思います。

最後に、企画から実施、機材の提供、消耗品の調達や、薬剤師の派遣にご協力いただいた(株)トーション様を始めとする参加企業各社(ウエルシア薬局(株)、(株)MMC マネジメント、(株)キリン堂、(株)コクミン、(株)サッポロドラッグストア、(株)スギ薬局、中部薬品(株)、(株)ツルハ、(株)トモズ、(株)千葉薬品、(株)龍生堂本店)の皆様にご心から感謝申し上げます。

調剤推進委員長 関口周吉

<開催概要>

日時:8月20日(土)、21日(日)10:00~17:00

場所:東4ホール こどもやくざいし体験薬局

参加者数:360名

【街の健康ハブステーション推進委員会主催セミナー】

『「食と健康」実証実験報告会～機能性表示による新しい売場提案～』

本セミナーでは、まず、消費者庁の田中室長から健康食品の表示・広告規制について基調講演をいただきました。そのあと、JACDS街の健康ハブステーション推進委員会委員が「食と健康販売マニュアル」及び健康食品の販売方法、情報提供等に関する自主基準に基づく店頭表示物を用いて、2022年3月~6月に実施した「食と健康」実証実験の結果報告等をパネルディスカッション形式で行いました。その中では、お客様の商品選択に資する科学的根拠のある情報提供、小売店頭でヘルスケア関連情報を提供する際に注意しなければならないこと等々の検討を行いました。

セミナー終了後もパネリストや委員長、委員を交えた意見交換が行われ、店頭における健康食品の表示や情報提供への関心の高さがうかがえました。

街の健康ハブステーション推進委員長 塚本厚志

<開催概要>

日時:8月19日(金)11:15~12:45

場所:東4ホール セミナールーム B

参加者:約60名

【経済産業省RFID実証実験報告会】

はじめに、JACDS業界システム化推進委員会 富山副委員長が挨拶した後、経済産業省 消費流通政策課 金(こん)課長補佐より社会の課題や政府の取り組みについてご報告いただきました。その後、「スマートストア実現に向けた電子タグ(RFID)実装へのアプローチ」と題して、金課長補佐をはじめ、業界関係者でパネルディスカッションを行い、RFIDの必要性を参加者と共有しました。

業界システム化推進委員長 寺西豊彦

<開催概要>

日時:8月19日(金)12:00~14:30

場所:東3ホール セミナールームA

参加者:約80名

【消費税インボイスセミナー】

はじめに、JACDS業界システム化推進委員会 富山副委員長よりご挨拶いただいた後、前半に財務省主税局 第2課 村田様より制度について解説をいただきました。後半は流通BMS協議会 坂本事務局長より流通BMSでのインボイス対応や電子帳簿保管法での対応についてご報告をいただきました。

お二人とも難しい内容をわかりやすく解説してくれ、大変貴重な講演となりました。参加者は今後、避けて通れない内容であり、真剣に聴講されていました。

業界システム化推進委員長 寺西豊彦

<開催概要>

日時:8月19日(金)15:00~16:30

場所:東3ホール セミナールームA

参加人数:約30名